

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 15 週
(4/11~4/17)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

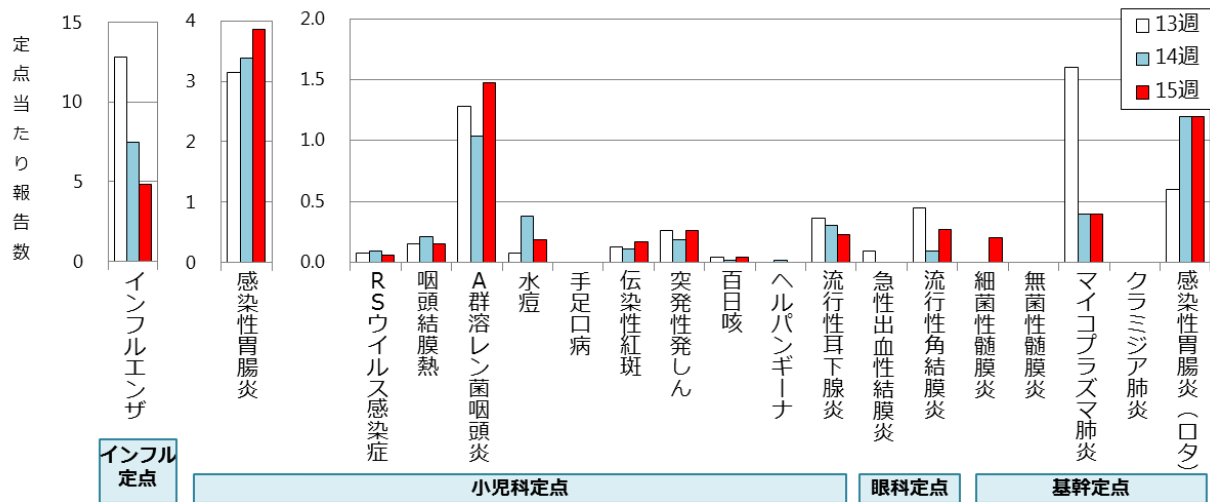
- ◇ インフルエンザは前週より減少し、県全体で定点当たり 5 人を下回りました。
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が前週より増加しています。
- ◇ ゴールデンウィークに海外に渡航される方は、感染症に注意しましょう。→トピックス

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

| | 疾患名 | 保健所（定点当たり報告数） |
|--------|-----|---------------|
| 警報レベル | なし | — |
| 注意報レベル | なし | — |

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 3 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 2 例、水痘（入院例）1 例、梅毒 1 例

● 2016 年累計

| | | | |
|--------|---------------------|-------|------------------|
| 1 類感染症 | なし | | |
| 2 類感染症 | 結核 | 121 例 | |
| 3 類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 6 例 | |
| 4 類感染症 | A 型肝炎 | 1 例 | デング熱 1 例 |
| | つつが虫病 | 1 例 | レジオネラ症 1 例 |
| 5 類感染症 | アメーバ赤痢 | 2 例 | 侵襲性肺炎球菌感染症 21 例 |
| | カルバペ 6 耐性腸内細菌科細菌感染症 | 1 例 | 水痘（入院例に限る）4 例 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 2 例 | 梅毒 6 例 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 10 例 | 播種性クリプトコックス症 1 例 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 3 例 | |

■トピックス

《海外で気をつけたい感染症》

ゴールデンウィークには、多くの方が海外へ渡航されます。環境が異なる海外では、食べ物、飲料水、虫さされ、動物との接触などで感染症にかかることがあります。

近年、海外で感染して帰国後に発症する輸入感染症が全国で多く報告されるようになり、県内でも毎年報告されています。旅行者自身の健康と安全のために、また国内に感染症を持ち込まないためにも、感染症に関する正しい知識と予防方法を身につけましょう。

～海外での感染症予防のポイント～

- ・手洗い・・・感染症予防の基本です。外出後、食事前、トイレの後はきれいな水で手洗いを。
- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダなどに注意
- ・蚊やダニなどの虫さされに注意
- ・動物や鳥に触らない

◆食べ物・飲み水からうつる感染症

コレラ、赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、E型肝炎、A型肝炎など

海外に渡航して最も感染する可能性が高いのが、食べ物・飲み水を介した消化器系の感染症です。衛生状態の悪い地域では、水が様々な病原体に汚染されている可能性があります。生水を飲むのは避け、ボトル入りの飲料水を買うか、水道水の場合は沸騰させてから飲みましょう。海外の屋台などでは、飲み物に入っている氷、カットフルーツやサラダなども、現地の水が使用されている場合があるので注意が必要です。

また、生肉や生魚なども避け、十分に加熱されたものを食べましょう。

◆蚊が媒介する感染症

デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、マラリアなど

蚊が媒介する感染症は世界的に多く報告されています。現在、中南米ではジカウイルス感染症が、東南アジアをはじめとする熱帯・亜熱帯地域ではデング熱が流行しています。

特に熱帯・亜熱帯地域では、長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されない対策をしましょう。屋外だけでなく、都市部や室内でも注意が必要です。

※妊婦のジカウイルス感染と胎児の小頭症との関連が示唆されていることから、妊婦の方はジカウイルス感染症流行地への渡航を控えた方がよいとされています。

◆動物からうつる感染症

狂犬病、鳥インフルエンザ、中東呼吸器症候群（MERS）など

動物から感染する感染症は数多く、中には危険なものもありますので、動物にはむやみに触らないことが大切です。

主に中東で発生しているMERSはラクダが感染源の一つとされています。中東でラクダに接触することは極力避けましょう。

狂犬病は、日本やオーストラリア、英国など一部の地域を除いて世界中で発生しています。犬だけでなく、コウモリなどの野生動物に咬まれることによっても感染することが知られています。海外では犬が放し飼いにされていることがあります。人に慣れていても近寄らないことが安全です。

また、中国では鳥インフルエンザ(H7N9)の患者が、東南アジアなどでは鳥インフルエンザ(H5N1)の患者が発生しています。これらの地域では、野生の鳥や死んだ鳥に触ったり、鳥を飼育している場所や鳥を売買している市場に不用意に近づいたりするのはやめましょう。

◆ 人との接触でうつる感染症

麻しん、風しん、後天性免疫不全症候群（HIV感染症）など

人から人へうつる感染症は、海外で感染して帰国すると国内で周囲の人へ感染を広げる可能性があります。特に麻しん・風しんは世界各地で流行しており、中でも麻しんは感染力が強く、空気感染を起こすため、流行地では人ごみを避けるなどの注意が必要です。

また、海外での性行為による性感染症にも注意しましょう。

★ 渡航前に渡航予定地でどのような感染症が流行しているか詳しい情報を確認しましょう。

(参考：FORTH/厚生労働省検疫所ホームページ <http://www.forth.go.jp/>)

★ 帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港や港に設置されている検疫所にご相談ください。

★ 帰国後に症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず話してください。受診方法で分からないことがある場合は検疫所または保健所にご相談ください。

県内の輸入感染症患者の報告

| 年 | 疾患名 | 報告数 | 感染地域（推定含む） | 主な感染経路 |
|------------------|-------------|-----|--|----------------|
| 2014年 | 細菌性赤痢 | 1 | キプロスまたはUAE | 汚染された食品・飲料水の摂取 |
| | アメーバ赤痢 | 3 | タイ(2)、インド(1) | |
| | チクングニア熱 | 1 | インドネシア | 蚊による吸血 |
| | デング熱 | 7 | フィリピン(2)、マレーシア(2)、 インドネシア(1)、タイ(1)、 モルディブ(1) | |
| | マラリア | 1 | アンゴラ | |
| | レジオネラ症 | 1 | ベトナム | 汚染水のエアロゾル吸入 |
| | 麻しん | 3 | フィリピン(3) | 感染者からの飛沫・空気感染 |
| | 計 | 17 | | |
| 2015年 | 腸チフス | 1 | インドネシア | 汚染された食品・飲料水の摂取 |
| | アメーバ赤痢 | 1 | カンボジア | |
| | デング熱 | 6 | インドネシア(2)、ミャンマー(2)、 フィリピン(1)、ブラジル(1) | 蚊による吸血 |
| | マラリア | 1 | タンザニア | |
| | 後天性免疫不全症候群 | 1 | タイ | 性行為 |
| | ウイルス性肝炎 | 1 | ベトナム | |
| | 麻しん | 1 | 中国 | 感染者からの飛沫・空気感染 |
| | 計 | 12 | | |
| 2016年 (1～15週) | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | メキシコ | 汚染された食品・飲料水の摂取 |
| | A型肝炎 | 1 | ミャンマー | |
| | デング熱 | 1 | スリランカ | 蚊による吸血 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 1 | 台湾 | 感染者からの飛沫感染 |
| | 梅毒 | 1 | ギリシア | 性行為 |
| | 計 | 5 | | |

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>